



2019.12.7~12.8 石巻・東松島交流活動

石巻市鹿妻・子鹿クラブスポ少野球チーム来校

東日本大震災から8年9ヶ月、宮城県へ訪問する回数は82回を数えている。一方、当初から継続している少年野球チームとの交流活動がある。バスケットボール、サッカーチームの子どもたちも浦和に遊びに来たことはあるが、この少年団は9回目の訪問となる。今年も交流の主旨が受け継がれていく。「震災当初、活動する場所もなく、校庭を自衛隊が埋め尽くす中、野球は二度とできないと思った。そんな時、浦和のグラウンドで思う存分に野球をさせていただいた。多くのものを失ったが、私たちが得た財産は『浦学野球』。お兄ちゃんたちは優しく、格好良く、全国大会優勝の約束も果たしてくれた」。9年経った今も、心の交流活動が継続されている。

浦学生も震災当初は小学校3年・2年・1年。少年団の子どもたちは震災後に誕生した子どもたちも少なくない。石巻の大人の方々は「あの時の惨事を忘れないで欲しい。自分達が受けた被災は二度と繰り返させたくない」。日本全域に災害が多発、浦学生にも災害の教訓を伝えてくださる。野球部の部訓にある「思いやり」の再確認ができる上、この活動を通して、野球ができることへの感謝、周囲の方々への感謝、仲間への思いやりを改めて学んでいる。12月末、野球部3年生が石巻訪問も予定している。野球部としては、一つの区切りをつける最後の訪問となる。

活動報告



歓迎セレモニー



図書委員会からプレゼント



野球の練習



森監督の歓迎

2019年度の活動予定

- ◆79班 7/21~7/24
学習サポートふれあい活動
- ◆80班 8/2~8/3
伝承・視察ツアー1泊2日コース
- ◆81班 8/21~8/24
国際類型サマースクール
- ◆82班 11/16~11/18
伝承・視察ツアー2泊3日コース
- ◆83班 12/20~12/24
野球部交流活動
- ◆84班 3/11~3/14
追悼・わかめ作業



国際寮（ネクス）を清掃する子どもたち

子どもたちの面倒をしっかりと見る3年生

